

広川町の学校教育

今年度の学校教育重点目標と働き方改革、コミュニティ・スクール

聞 教育委員会事務局

学校教育係

☎ 0943・32・0093
(内線262、263)

教職員の働き方改革

近年全国の学校で、「教職員の長時間勤務」が大きな問題となっています。長時間勤務下にある教職員は、健康面に支障をきたしたり、教育に対するやりがいや低下したりと、学校教育の質に大きく影響します。

広川町ではこれを改善するため、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を目指す「働き方改革」に取り組んでいます。

○町単独雇用の支援員を採用（個に応じた学習を支援）

○最新のパソコン、パソコンソフトの導入（事務効率を高める）などを実施し、「教職員が子どもと向き合う



導入したパソコンで授業を受ける児童

時間」が十分に確保できるよう取り組んできました。今年度は次の2つを追加し、さらなる教育の質の向上を目指します。

○これまで月2回実施していた定時退校日を、毎週1回実施する

○夏季休業期間中の3日間（8月13日～15日）を学校閉庁日とする

地域の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

① 確かな学力の向上

- 全国学力・学習状況調査で標準化得点（平均点を100としたときの得点）が100を超える。
- 家庭学習時間について、小学6年生が60分、中学3年生が90分を上回る。

- ・ 福岡県重点課題指定事業（小中学校連携による学力向上）
- ・ 広川町教育研究指定事業
- ・ 町雇用 ALT、常勤・非常勤講師、学習支援員の配置
- ・ 夏季休業中の学力向上強化講座
- ・ 小中学生の意見発表会、詩集の発行
- ・ 町雇用小学校外国語担当主事の配置
- ・ 町雇用特別支援介助員の配置
- ・ 町雇用少人数学級講師の配置



② 豊かな心の育成

- 夢や希望をもった児童生徒の割合を伸ばす。
- 規範意識を高め、児童生徒の道徳心を高める。
- 不登校児童生徒の人数が前年度を下回る。
- いじめを見逃さず、いじめをさせない集団をつくり、いじめを認知した場合は必ず解決する。

- ・ 持とう「私の夢」講演会
- ・ 道徳教育の充実
- ・ 読書リーダー養成講座
- ・ 町雇用教育相談主任やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置
- ・ ふくおかアクション3
- ・ いじめ問題早期発見調査

目標

達成するための実施事業

校務支援ソフトの充実



今年度の学校教育重点目標を定めました

5 教職員の資質向上

- 町が募集する教育実践研究への応募数が10点を上回る。
- ふくおか教育論文への応募数が各校1点を上回る。

- ・ 小中教科等研究会
- ・ 町内全教職員研修会
- ・ 断続授業力向上研修会

4 地域とともにある学校づくりの推進

- 教育週間中の各学校への参観者が、学校目標を上回る。

- ・ 学校教育説明会
- ・ 学校訪問
- ・ 学校運営協議会
- ・ 教育力向上委員会



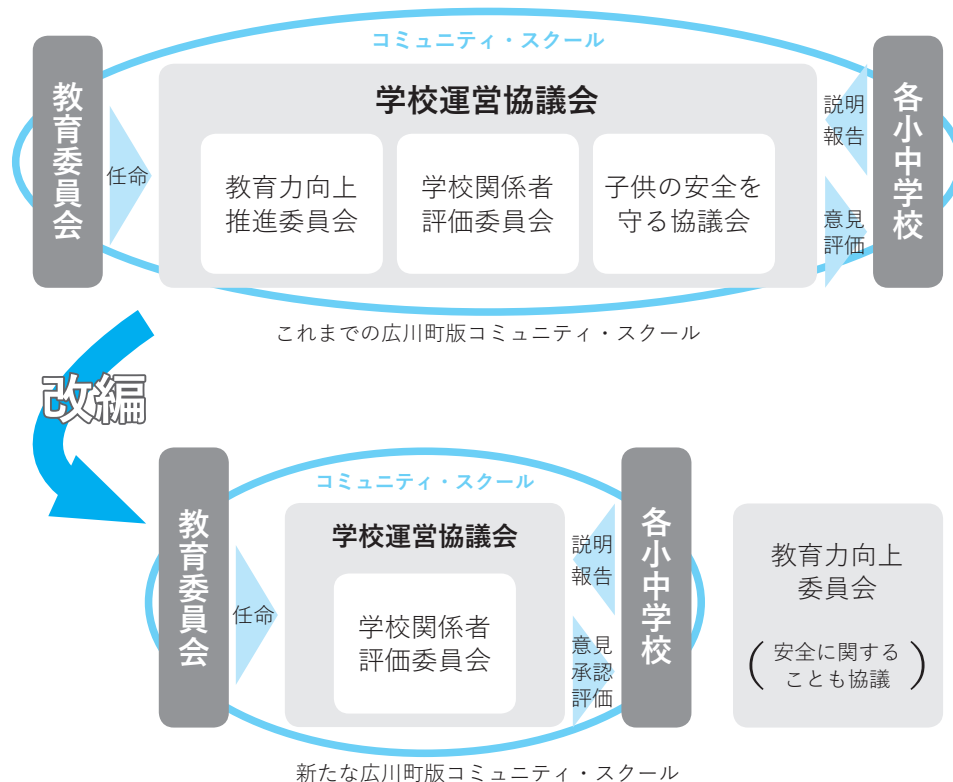
3 健やかな体の育成

- 新体力テストのすべての項目の合計が全国平均を上回る。
- 全国学習状況調査の朝食の摂取率が、小学校は98%、中学校は95%を上回る。

- ・ 町内小学校合同陸上大会
- ・ 「1校1取組」運動
- ・ 小学生体育支援サポーター委託
- ・ 福岡県「運動を通じた鍛ほめプロジェクト推進事業」の活用

6 教育設備や教育環境の整備

- 下広川小学校の屋内運動場を改築する。
- 各学校のパソコン環境を充実させる。



広川町は現在、「地域とともにある学校」づくりを目指し、「広川町版コミュニティ・スクール」を実施しています。平成29年には、

広川町版コミュニティ・スクールの改編

保護者や地域住民が学校運営に参加できるよう、全小中学校が連携して「学校運営協議会」を設置しました。今年4月、これまでの学校運営協議会をさらに強化させるため、新たなコミュニティ・スクールを構築しました（左図参照）。